

2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを2020年秋に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智恵と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第5回

急進する海外認証制度における ライフサイクルアセスメント

LEED認証で見えてくるUSAの近況とCASBEEを含む日本の展望

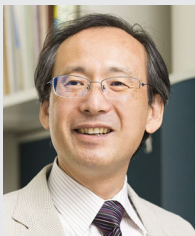
2022年3月3日 (木) 18:00-20:00



岡田早代 Sayo Okada

株式会社イズミシステム設計
環境コンサルティング部
Cube Zero 代表

Wenworth Institute of Technology客員教授
Phius バッシブハウストレーナー
マサチューセッツ州建築士
AIA(アメリカ建築家協会)正会員
CPHC(Phius認定バッシブハウスコンサルタント)



伊香賀俊治 Toshiharu Ikaga

慶應義塾大学理工学部
システムデザイン工学科 教授

早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了、
(株)日建設計 設備設計主管、
東京大学助教授、
(株)日建設計 環境計画室長を経て現職。
日本建築学会副会長、日本LCA学会副会長、
日本建築学会LCA指針検討小委員会主査、
CASBEE研究開発委員会委員長を歴任

前回の当セミナーでは「地域ごとのカーボンニュートラルを極める／脱炭素社会を生き続ける技術の伝承や地産地消 エネルギー・資材の活用」という主題で、JIA会員の古川保氏(熊本県)と西方里見氏(秋田県)のお話を伺いました。この回で改めて課題として浮彫りになったのは、LCA(ライフサイクルアセスメント)の実践・普及の加速への期待でした。LCAについては今後も複数の機会を設けて採り上げたいテーマとなります。今回はAIA(アメリカ建築家協会)正会員として約20年USAでの設計実務に従事されてきた岡田早代氏からLEED認証や実務でのエンボディドカーボンに重点を置いたLCA分析の利用や考え方のお話を伺います。その後、対談形式により、CASBEEや日本建築学会におけるLCA研究の現況を踏まえ、伊香賀俊治氏に我が国のLCAの展望についてのお話を伺います。奮ってご参加下さい。
(司会：宮崎淳JIA関東甲信越支部・環境委員会委員長)

会場：オンライン／ZOOM Webinar
定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参加費：無料(複数名同室視聴可)
CPD：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpckmEA>

※過去のお会で申込済みの方は重複の必要はありません。

<注意事項> ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。
< 接 続 > 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード▶



◆第1期セミナー ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏
◆第2期セミナー ・第1回：11/11(木) 講師：伊香賀俊治氏
・第2回：11/25(木) 講師：腰原幹雄氏、網野禎昭氏
・第3回：12/16(木) 講師：三浦秀一氏、武部豊樹氏
・第4回：2/ 3(木) 講師：古川保氏、西方里見氏
◆セミナー動画URL <http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>